



市・有形文化財 美術工芸品（絵画）

うおづまちけんめいず  
魚津町軒名図

魚津市本江（魚津市）

この図は、旧魚津町の住人をもとにその住居位置に従って書き上げた住宅地図であり、その名から推定して江戸時代末期ごろのものと考えられる。161cm×216cmの大版で、虫食いによる傷みが全面にみられる。350人に及ぶ人名は、今も容易にその子孫を知ることのできるものもあれば、すでに絶えてその縁者さえ知れないものも数多い。ここに名のある人々は、商人や職人等として一家を成したものであろうから、このほかに多くの零細生活者がいたことを思えば、紙背しへに見え隠れする当時の有様も興味深く思われる。

姓はすべて屋号で、その出身地をとったり、職業を名としたりしていることが特徴であることも面白い。

金屋町に居住した三ヶ屋作兵衛の名も、後の事件（ぼんどり騒動）を思い合わせると感興が尽きず、当時の資料に出てくる姓名と対照することができる格好の資料である。